

1 日常の学習状況・課題について

新型コロナ感染症による活動の制限が緩和され、感染対策を行いながらも、活動の幅が広がり、合唱発表に向けて前向きに授業に取り組んでいる。

しかし、少なからずかかる制限に、準備していたこと全てを発表する機会が作れず、全力で取り組むことへの意識を高めていくことに課題を感じる。

ICT教材を使用しながら、個人個人の状況に合わせた学習を進めているが、使用状況の差が大きく、さらなる授業内容への理解度や既習事項、基礎基本の定着が課題と考える。

2 改善の計画

(1) 学習面

- ① 行事と学習活動う結びつけながら、学習活動の幅を広げる。
- ② ICT教材やプリント等を活用し、基礎的な知識の定着を図る。
- ③ 一つ一つの活動と評価の結びつきを理解し、基礎技能の定着を図る。

(2) 指導面

- ① 研修などに参加しながら様々な学校の先生方との情報共有を行いながら情報を集め、引き続き新型コロナ感染症への対策を講じながら活動の幅を広げていく。
また、生徒一人一人が行事への意識と学習が結びつくよう指導する中で、個々を認め合い協働して学習を行う指導の工夫を行う。
- ② ICT機器等活用しながら、短時間で深くわかりやすく提示する工夫を行う。
Monoxer や自作のICT教材を開発・活用しながら短時間での知識定着を目指す。
課題の提示方法など Monoxer を使用する機会を増やす工夫を行う。
- ③ 活動に対し、どこがどのように評価に結びつくか、プリントなど作成し、その場その場での活動に結び付けながら説明しながら意欲を高める。

3 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを行い、変容を見る。
- (2) 年度末に、観点別学習状況の評価を前年度と比較する。